

MC医師研修(初級)比較(WS On-line MCについて)

	福岡	兵庫
スライド枚数 (総数)	58(うち題名のみ4、グループワークの進め方説明3、同参考資料19)	35(うち題名のみ2)
スライド枚数 (両群で完全に一致していたもの)	11	14
スライド枚数 (両群で内容的に一致していたもの)	3	7
スライド枚数 (一方しかないスライド)	40(グループワークの進め方説明3、同参考資料19)	12

(考察)本項目については、目的から異なっている。福岡はプロトコル作成とオンラインMCの実践、兵庫はオンラインMCの位置づけの理解と実践になっている。当然グループワークのテーマも異なっている。スライドから推察すると福岡の方がワークショップの時間が長く、兵庫は講義の時間が長いようである。(1)両群で一致した部分:講義内容:①メディカルコントロールについて②オンラインMCについて③プロトコルについて。(2)両群で一致していなかった部分:福岡はMC協議会によって体制が違うことの説明から入り、ワークステーション方式におけるMCについても言及している。兵庫はプロトコルを作成しない分、プロトコルの必要性、策定時の注意点について詳細に解説していた。

(まとめ)本項目については、両群において目的、学習項目が異なっており、指導スライドや内容に大きな差を認めた。